

- 問1 高知県では、冬でも暖かい気候を利用してビニールハウスなどで野菜を育て、全国的に出荷量が少ない冬から春にかけて出荷する農業が盛んです。なすの出荷時期に関する統計において、全国平均では7月や8月にピークを迎えるのに対し、高知県では3月から5月にかけて出荷のピークがあります。このような、自然条件を活かして出荷時期を早める農業形態を何と称しますか。(2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 促成栽培
 2. 抑制栽培
 3. 近郊農業
 4. 二毛作
- 問2 瀬戸内地方は、年間を通して降水量が少なく、晴天の日が多いことで知られています。このような気候が形成される地形的な理由として、最も適切な説明はどれですか。(2020年 長野県公立入試 類似)
1. 冬の北西季節風を中国山地が、夏の南東季節風を四国山地がそれぞれ遮るため
 2. 冬の北西季節風を四国山地が、夏の南東季節風を中国山地がそれぞれ遮るため
 3. 飛騨山脈と木曾山脈が日本海からの湿った空気を遮り、乾燥した風が流れ込むため
 4. 南側に高い山地が存在しないため、太平洋からの湿った空気が雨を降らせずに通過するため
- 問3 愛媛県南西部の坂下津から戒ヶ鼻にかけてのように、リアス海岸が広がる地域では海岸のすぐ近くまで山が迫っています。このような地形的制約がある中で、この地域の斜面で広く行われている農業の特色について述べたものはどれですか。(2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 日当たりの良い斜面を段々畑として整備し、みかんなどのかんきつ類の栽培が行われている。
 2. 土砂が堆積してできた平坦な土地を利用して、大規模な機械化による小麦の栽培が行われている。
 3. 海岸沿いに広がる砂丘を利用して、スプリンクラーを用いたらっきょうやスイカの栽培が行われている。
 4. 冷涼な気候を活かし、山の斜面を牧草地として利用した乳牛の放牧が行われている。
- 問4 2015年度の統計において、東京との間の移動手段の利用割合を調査したところ、航空機が35.8パーセント、バスが5.0パーセントであるのに対し、鉄道が59.2パーセントと半数を超えている県があります。このデータが示す県として正しいものを次から選びなさい。(2018年 愛媛公立入試 類似)
1. 岡山県
 2. 北海道
 3. 福岡県
 4. 沖縄県
- 問5 四国地方の北西部に位置する愛媛県において、レモンやみかんなどの柑橘類の栽培が盛んに行われている理由として、地域の自然環境を説明したものと最も適切なものを選びなさい。(2020年 長野県公立入試 類似)
1. 年間を通じて温暖であり、季節風の影響を山地が遮ることで晴天の日が多く、降水量が比較的小さいため。
 2. 季節風による冬の降雪量が多く、その雪解け水が果樹の成長に必要な水分を安定して供給するため。
 3. 広大な平野部が広がっており、機械を導入した大規模な果樹園の経営が容易であるため。
 4. 台風の通り道となることが多く、年間を通じて大量の雨が降ることで土壌が常に湿潤に保たれるため。
- 問6 高知県の平野部などで盛んに行われている、ビニールハウスなどの施設を利用して作物の生育期間を短縮し、本来の収穫期よりも早い時期に出荷する栽培方法を何と称するか。(2025年 宮城県公立入試 類似)
1. 促成栽培
 2. 抑制栽培
 3. 近郊農業
 4. 二毛作
- 問7 中国・四国地方の各県の統計において、工業製品出荷額が10兆円を超え、他県に比べて際立って高い数値を示している県があります。この県の工業が盛んな理由として最も適切な説明を選びなさい。(2019年 熊本県公立入試 類似)
1. 瀬戸内海の沿岸部に石油化学コンビナートなどが形成され、重化学工業が発達したため。
 2. 内陸部の交通網の整備に伴い、高速道路沿いに先端技術産業の工場が多数進出したため。
 3. 広大な平野を活用した米作りや果樹栽培が盛んで、農業に関連する製造業が発展したため。
 4. 県内全域に大規模な漁港が多く、水産加工業の出荷額が全国有数の規模であるため。
- 問8 岡山県吉備中央町では、農業の活性化を目指して独自の取り組みを行い、果実の産出額を大幅に増加させました。この町が行った施策と、その結果として生じた農業経営の変化について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。(2025年 宮城県公立入試 類似)
1. 町が主体となって耕作放棄地を「ぶどう生産団地」として整備し、研修体制を整えたことで新規就農者が増加し、1戸あたりの経営規模が拡大した。
 2. 海外からの安価な輸入果実に対抗するため、大規模な機械化による省力化を徹底したことで、農家1人あたりの労働時間が大幅に短縮された。
 3. 都市近郊であることを活かして観光農園への転換を全面的に推奨した結果、農家数が増加し、多品目の農産物を少量ずつ生産する形態が定着した。
 4. 伝統的な栽培技術を保護するために、特定の熟練農家だけに補助金を集中させた結果、希少価値が高まり、少量生産ながら産出額が維持された。
- 問9 香川県をはじめとする瀬戸内地方の地域では、山地に囲まれた地形の影響で年間の降水量が少なく、古くから干ばつの被害に悩まされてきました。このような気候条件のなかで、安定して稲作を行うために作られた「ため池」の役割について、最も適切な説明を選びなさい。(2019年 和歌山公立入試 類似)
1. 雨の少ない時期に備えて、農業に必要な水を貯蔵する
 2. 急峻な河川の流れを利用して、農業用の電力を発電する
 3. 大規模な洪水が発生した際に、河川から溢れた水を受け止める
 4. 都市部で不足する生活用水を供給するための貯水池として活用する
- 問10 中国・四国地方に位置し、瀬戸内海に面したある県では、児島湾などの沿岸部で大規模な「干拓」が行われ、農地が拡大されてきました。この地域に関する説明として、最も適切なものはどれですか。(2016年 群馬県公立入試 類似)
1. もともと塩分を含み農業に不向きだった土地を改良し、広大な農地として利用している。
 2. 地方中枢都市としての機能を高めるため、沿岸部の埋め立て地に多くの官公庁を移転させた。
 3. 波の静かな入江を利用して、カキや真珠などの大規模な養殖業を産業の中心としている。
 4. 山間部の急斜面を切り開いて段々畑を造り、温暖な気候を利用してミカンの栽培を行っている
- 問11 中国・四国地方の各県の産業構造について、統計に現れる背景を説明したものと最も適切なものはどれですか。(2023年 青森県公立入試 類似)
1. 広島県で外国人宿泊者数が多いのは、平和記念都市としての役割や、海上に立つ鳥居で知られる厳島神社などの観光資源が豊富だからである。
 2. 香川県で果実産出額が一定の割合を占めるのは、季節風を遮る高い山脈がないため、年間を通じて降水量が非常に多いからである。
 3. 山口県で重化学工業が発達しているのは、広大な平野部を利用して大規模なシリコンバレーが形成されたからである。
 4. 中国・四国地方のすべての県において、共通して人口が増加傾向にあるのは、本州四国連絡橋の整備によりストロー現象が解消されたからである。
- 問12 高知県における、なすなどの野菜の生産の特色を説明した文として最も適切なものを、統計資料から得られる「2月から5月に東京都中央卸売市場への入荷が集中している」という事実に基づき選択しなさい。(2024年 埼玉県公立入試 類似)
1. 冬でも温暖な気候をいかし、ビニールハウスを使って他の地域よりも早く栽培する工夫をしている。
 2. 高冷地の涼しい気候をいかし、夏から秋にかけての出荷時期を遅らせる工夫をしている。
 3. 大消費地に近い立地をいかし、輸送費を抑えて新鮮な野菜を毎日出荷する工夫をしている。
 4. 広大な土地をいかし、大型機械を用いて少ない労働力で大量の作物を生産する工夫をしている。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 促成栽培	高知県は沖合を流れる黒潮（日本海流）の影響で、冬でも温暖な気候に恵まれています。この気候を活かし、ビニールハウスなどを用いて作物の成長を早め、他の地域からの出荷が少ない時期に市場へ送り出す「促成栽培」が行われています。これにより、なすの出荷ピークを全国平均とは異なる春先に持ってくるのが可能になっています。
問2	答え 1 冬の北西季節風を中国山地が、夏の南東季節風を四国山地がそれぞれ遮るため	日本の気候は季節風の影響を強く受けますが、瀬戸内地方は北を中国山地、南を四国山地に囲まれています。冬は日本海側から吹く湿った風が中国山地にぶつかって雪を降らせた後、乾燥した風となって瀬戸内側に吹き込みます。夏は太平洋側からの湿った風が四国山地にぶつかって雨を降らせた後、乾燥した風が吹き込みます。このように、2つの山地が障壁となって季節風が運ぶ水分を遮断するため、瀬戸内地方は年間降水量が少なくなります。
問3	答え 1 日当たりの良い斜面を段々畑として整備し、みかんなどのかんきつ類の栽培が行われている。	リアス海岸付近は平地が非常に少ないため、人々は山が海に落ち込む急斜面を切り拓いて段々畑を作り、土地を有効活用してきました。温暖な気候に加え、海からの反射光や水はけの良さが果樹栽培に適しているため、みかんを中心としたかんきつ類の栽培（果樹園）が盛んです。地形図においても、海岸線から山側にかけて果樹園の地図記号が密集している様子が見取れます。
問4	答え 1 岡山県	東京から各都市への移動手段の選択には、所要時間が大きく関係しています。一般に「4時間の壁」と呼ばれ、新幹線での所要時間が4時間以内であれば鉄道が、それを超えると航空機が有利になる傾向があります。岡山県は東京から新幹線で約3時間強の距離にあり、空港への移動や待ち時間を含めた航空機との比較において鉄道の利便性が高いため、鉄道が約6割という高いシェアを占めています。これに対し、北海道や福岡県は航空機の割合がより高くなります。
問5	答え 1 年間を通じて温暖であり、季節風の影響を山地が遮ることで晴天の日が多く、降水量が比較的少ないため。	愛媛県が面する瀬戸内地方は、北を中国山地、南を四国山地によって挟まれているため、季節風の影響を受けにくく、年間を通じて温暖で乾燥した気候が特徴です。このような日照時間の長さ、水はけの良い傾斜地を利用した段々畑の存在が、高品質なレモンやみかんを栽培する上で最適な条件となっています。
問6	答え 1 促成栽培	温暖な気候を活かし、ビニールハウス等で温度を管理して出荷時期を早める方法です。高知平野のナスやピーマン、宮崎平野のキュウリなどが代表例です。これに対し、高冷地の涼しい気候を利用して出荷時期を遅らせる方法は抑制栽培と呼ばれます。
問7	答え 1 瀬戸内海の沿岸部に石油化学コンビナートなどが形成され、重化学工業が発達したため。	山口県は、周南市や岩国市などの瀬戸内海沿岸を中心に、石油化学や金属、輸送用機械などの大規模な工場が集まる瀬戸内工業地域の一角を担っています。そのため、工業製品出荷額が非常に高く、中国・四国地方の中でも経済的な存在感が大きいのが特徴です。農業や漁業の産出額が最大であるという事実はなく、あくまで重化学工業が産業の中心となっています。
問8	答え 1 町が主体となって耕作放棄地を「ぶどう生産団地」として整備し、研修体制を整えたことで新規就農者が増加し、1戸あたりの経営規模が拡大した。	岡山県吉備中央町では、町が主体となって耕作放棄地を「ぶどう生産団地」へと改良し、公社による研修体制を整備しました。この手厚い支援策によって、農業の新たな担い手となる新規就農者が確保されました。その結果、1戸あたりの経営面積（経営規模）が2014年の26aから2021年には37aへと拡大し、生産能力が高まったことで、果実全体の産出額が大きく増加するという因果関係が生まれています。
問9	答え 1 雨の少ない時期に備えて、農業に必要な水を貯蔵する	瀬戸内地方は北側の中国山地と南側の四国山地に挟まれているため、季節風が運ぶ湿った空気が遮られ、年間を通じて降水量が少ないのが特徴です。特に水不足に弱い稲作を継続するためには、雨が降った際にその水を人工的な池に貯めておく必要がありました。これが「ため池」の主な目的であり、香川県の満濃池などはその代表例です。
問10	答え 1 もともと塩分を含み農業に不向きだった土地を改良し、広大な農地として利用している。	岡山県の児島湾周辺などは、遠浅の海を堤防で仕切り、水を抜いて陸地にする「干拓」によって造られた土地です。干拓地はもともと海底だったため土壌に塩分を多く含んでおり、農業を行うには不向きな環境でしたが、用水路の整備や排水技術の向上によって、県内を代表する農業地帯へと発展しました。
問11	答え 1 広島県で外国人宿泊者数が多いのは、平和記念都市としての役割や、海上に立つ島居で知られる厳島神社などの観光資源が豊富だからである。	広島県の統計で外国人宿泊者数が多い背景には、国際的な平和記念都市としての認知度や、日本三景の一つである厳島神社などの強力な観光資源の存在があります。一方、香川県（瀬戸内側）は山地に囲まれて降水量が少なく、ため池が作られるほどの地域であり「降水量が非常に多い」という説明は誤りです。また、多くの地方自治体と同様に人口減少は共通の課題となっています。
問12	答え 1 冬でも温暖な気候をいかし、ビニールハウスを使って他の地域よりも早く栽培する工夫をしている。	高知県で行われている促成栽培の背景には、冬の気温が高いという自然条件があります。ビニールハウスを用いて内部の温度を保つことで、市場での需要が高い冬から春にかけての出荷を実現しています。これに対し、夏から秋に出荷を遅らせる方法は「抑制栽培」と呼ばれ、主に長野県などの冷涼な地域で行われています。